

科目名	老年看護学概論	対象学年・時期	1年・後期
講師	専任教員	単位数・時間数	1単位・15時間
授業概要	<p>高齢化率が28%と超高齢社会にある中で、社会の変化に伴い、高齢者の生き様、価値観は変容し多様化している。少子高齢化、核家族や単身世帯の増加などにより、学生は異世代との交流が希薄な中にある。しかし老年期の対象は、学習者にとって「人生の先輩」に当たる。対象は、どのような人生を歩み、また歩んでいくのだろうか。取り巻く環境の現状や課題は何か。</p> <p>老年看護学概論では「対象理解」の基盤と「老年看護の基本的な考え方」を軸に、老年期を捉えていく。</p>		
授業形態	「講義」「グループワーク」「演習」		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の発達課題と特徴がわかる。 2. 高齢者をとりまく社会環境がわかる。 3. 老年看護の役割と機能についてわかる。 4. 高齢者と家族との関係について理解し、多角的な視点が持てる。 5. 高齢者の尊厳や人権を尊重し、支援する姿勢が持てる。 		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1回目 老いるということ、老いを生きるということ 高齢者になったら（演習） 2回目 身体の高齢変化①（演習）／ 加齢による身体の変化（グループワーク） 3回目 身体の高齢変化②（演習）／ 加齢による身体の変化（グループワーク） 4回目 超高齢者会の統計的輪郭 高齢者白書 5回目 老年看護の発展と定義 老年看護の役割 6回目 老年看護における理論・概念の活用 7回目 高齢者の権利擁護と看護 		
使用テキスト	・系統看護学講座 専門分野 老年看護学 第10版 第1刷 北川公子著 医学書院		
事前・事後学修 （学習を促進できる学修）	<p>人体の構造と機能「老化のしくみ」のまとめ学習</p> <p>「高齢者白書（内閣府）」第1章 第1節「高齢化の状況」より「高齢化率」「家族と世帯」第2節「高齢期の暮らしの動向」の特徴をまとめ学習（ネットでアクセスできます。）</p>		
評価基準および評価方法	筆記試験で評価		
備考			